

久留米大学を受診した患者さんへ

「卵巢神経内分泌腫瘍の病理組織学的再分類と臨床予後への影響に関する後方視的研究」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：平成7年1月1日から平成26年12月31日
- 2) 受診科：産婦人科
- 3) 対象疾患名：卵巢腫瘍
- 4) 使用する情報：診療情報、病理プレパラート等

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学 産婦人科学講座 牛嶋 公生
久留米大学 産婦人科学講座 田崎 和人

主管施設：大分大学医学部

研究代表者：婦人科 氏名 甲斐 健太郎

2) 研究の意義と目的：卵巢神経内分泌腫瘍は症例数が少なく予後不良な疾患が含まれています。近年、他臓器において分類の改訂があり、卵巢腫瘍においても適応する事で治療法などに有益になると考えられています。今後この検証結果を元に標準的な治療法を検討するために必要だからです。

3) 研究の方法：参加施設および協力施設より連結可能匿名化した患者さんの診療情報（診断、進行期、治療方法、病理所見、予後、最終転帰など）を収集します。また病理プレパラートも収集し、中央病理判定（選定病理医による再診断）を行います。各施設では、データと病理プレパラートを匿名化し、研究事務局へ郵送します。

4) 研究期間：平成28年3月倫理委員会承認後～平成28年3月31日

5) 上記の情報の使用を選定した理由：卵巢神経内分泌腫瘍は症例が少なく、診断や治療法、予後などとの相関が明らかではありません。病理プレパラートを用い診断や分類などを再度検討し、診療情報を用い治療法と予後などを検討します。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：個人を特定出来ない様に情報管理をしています。

7) 研究成果の発表の方法：学会や論文にて発表致します。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

久留米大学 産婦人科学講座

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67 番地

TEL：0942-31-7573